

【学校教育目標】

心豊かで たくましく生きる生徒の育成

【本校の課題】

- ・全学年男子、中1女子で上体起こし・20mシャトルランの平均値が全国平均を下回っている。
- ・中1男子は上体起こし、反復横とび、20mシャトルラン、立ち幅とび、ハンドボール投げの5項目で県・全国平均を下回っている。

【現状】

- ・生徒数の急激な増加により、運動場の使用を時間制にしたり、活動場所の確保が難しかったりと身体を動かす機会が減少している。
- ・男女とも、運動・スポーツの実施状況が週3回以上と答えた生徒の割合が高く、1日の運動・スポーツの実施時間が2時間以上と答えた生徒の割合が全国平均を上回り、運動部活動にも顧問の指導のもと熱心に取り組んでいる。
- ・運動部活動に所属している生徒と、属していない生徒の運動量の二極化や長時間にわたるゲームやスマートフォンの使用などにより運動量が減少している。運動の必要性を認識し、習慣化を図るため、学校全体として家庭とも連携を図りながら運動習慣確立に向けて手立てを行っていく必要がある。

保健体育の授業での取り組み

- ・新体力テストの結果から、毎時間の授業の中で不足している体力についての補強運動を取り入れている。
- ・授業の中で培った体力や資質能力を活かし、体育活動を通して心身の健全な発達と健康や運動に対する意欲や関心を高める。
- ・授業の中で活動時間を多く設けることで色々な動き・スポーツに取り組む習慣化を図る。

運動部活動や家庭との連絡

- ・新体力テストの結果を各顧問に周知し、練習内容に補強トレーニングを取り入れる。
- ・生徒が不足している体力要素について、向上させるためのトレーニング計画と実践方法を明確にして長期休業中の課題として取り組ませる。
- ・食事や睡眠等を適切にとり、生活習慣を整えるために、チェックシートを作り、日常生活における保護者の協力をもらう。

【目標】

- ・「運動する『時間』『空間』『仲間』」を生み出すことにより運動機会を確保する。
- ・生徒増加によって活動する場の確保が難しい中で、参加した生徒が充実感を得られるように、部活動の充実を図る。
- ・家庭・地域との連携を密にして運動習慣・生活習慣改善の取り組みを推進する。